

特異な山体に広がる原生的な森林

笠ヶ岳希少個体群保護林

設定目的

志賀高原の笠ヶ岳(二、〇七六メートル)は上信火山帯に位置しており、オオシラビソ、シラビソ、ダケカンバ等により構成されている原生的な天然林の保護・管理をしています。

地況・林況

笠ヶ岳は、約五万年前に地下のマグマが地表付近で固まり、噴火寸前で活動を停止した鐘状火山です。その独特の山体の北斜面に広がる当保護林には、右に示した樹種のほかブナやコメツガ等がみられ、露岩が多い山頂付近にはハイマツも分布しています。

所在地
長野県 下高井郡 山ノ内町



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育、生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを読み込んでください。